

## 「ようこそ、地域の先輩！」

(協力:東京商工会議所 墨田支部)

**社会****総合(キャリア)****地域理解**

- ・ 講師 金星ゴム工業(株)取締役 藤田桂一郎氏  
(株)浜野製作所 営業企画部 植木 春実氏  
関東合成工業(株)代表取締役 犬飼 功一氏

- ① 「働くとはどういうことか」「どのような理念をもって仕事に臨んでいるか」「仕事をする上で大切なことは何か」などについて、身近で活躍されている地元企業の方から話を聞き、墨田区の特徴、良さ、課題などについて学ぶことで郷土愛を培う
- ② 「働くこと」「生きること」の尊さを実感させ、勤労観・職業観の育成や学習意欲の向上を図る。



- \* 僕はこの授業を受けて、今まで生活してきたことは当たり前じゃなく、有難く幸せなことなのだと思います。自分たちが当たり前だと思っていることは、他の国の子からしたら当たり前じゃなく、できないことで苦しい生活をしている人がいっぱいいるということを知りました。働くということは、「人のために動く」のだということを知り、確かにそうだなと思いました。人のために動いて、その人を良かったと思わせることが働くことなのだと思います。僕たちは勉強をしたり、家族の手伝いをしたりすることが仕事で、それによって感謝されるのが報酬で、大人は人のために動いて、辛いことも経験して収入を得るのが仕事だと教えてくれました。
- \* 町工場の浜野製作所さんは、私の家の近くだったので作業着を着ている方をよく見かけます。そのこともあり大きな会社だろうと思っていました。しかし植木さんのお話の中で、始めの頃は二人で経営していたということを知り驚きました。そしてもっと驚いたのは火災があったときに支えられた恩を返し続けているところです。ただお金を得ようとして仕事をするのではなく、感謝の気持ちをもちながら仕事をするのは、すごくよいことだと思います。
- \* 今日、私は犬飼さんのお話を聞き、思ったことの一つは「夢」です。これは犬飼さんが最後に教えてくれたことでした。みんながもっている「夢」を「夢」のままではなく「目標」にしてほしい、というお話でした。その言葉の意味を私は理解することができました。この言葉や、犬飼さんから今回教えてもらったことを意識し、職場体験を成功させたいと思います。
- \* 私は個人的に浜野製作所さんの経営理念にとっても感動しました。私の家も祖父が工場を営んでいるのですが、植木さんのお話に所々共感するところや、私の祖父はこんなことをしているのと思うことがたくさんありました。植木さんのお話は本当におもしろかったので、クラスみんなも楽しく授業が受けられたと思います。

【この実践事例は、吾嬭第二中学校の第2学年だよりをもとに作成しました。】